

平成 29 年第 1 回区議会定例会 発言通告書（総括表）

教育委員会資料
平成 29 年 3 月 15 日
子ども総務課

代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	桜井議員 (自民)	<ul style="list-style-type: none"> ○区政運営について ○平成 29 年度予算について ○学習指導要領について ○千代田区商工振興基本計画について 	<ul style="list-style-type: none"> ○区長の区政に対する姿勢と今後の区政運営を問う ○平成 29 年度当初予算の編成に当たって本区の人口の増加や近年の財政状況を踏まえた基本的な考え方について ○近年の特別区民税収入の増をどのように分析し、平成 29 年度予算においてはどのように見込んでいるのか。 ○多額に積み上がった基金はいつどの様な形で区民サービスとして還元されるのか ○現行要領と比べて次期要領はどう変わるのか ○教育は地方行政の責任、千代田区教育委員会はどのように受け止め対応するのか ○これらの取り組みで何が期待できるのか ○現行計画の進捗状況と課題について ○区内の商工業を取り巻く新たな課題とその対応策について ○商店街振興について ○実効性ある計画の推進について 	区長及び 関係理事者
2	はやお議員 (千代田)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 区政運営について 2. 財政運営について 3. 児童相談所設置について 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 区議会との関係について問う。 (2) 「千代田区から東京大改革につなげていきたい」との当選の弁について問う。 (1) 一般会計補正予算第 3 号を踏まえ積み立てが生じている現状について問う。 <ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行残や剰余金について等 (2) 財政運営の考え方を問う。 <ul style="list-style-type: none"> ・適正な予算規模で当初予算案を取りまとめているのか等 (1) 他区の進捗状況と児童相談所設置の課題について問う。 (2) 区長招集挨拶の中で「区の包括的な子育て支援機能と児童相談所機能を一元的に合わせ有することを検討」とあるがその機能の役割分担のイメージについて問う。 	区長、教育長 並びに 関係理事者

代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	木村議員 (共産)	1、共謀罪とパートナーシップ協定について 2、公共施設等総合管理方針について 3、国民健康保険制度について 4、住まいとまちづくりについて	○共謀罪は、法律に違反する行為を話し合い「合意」することを犯罪とし、処罰する。国家が市民の心の中を監視する社会になりかねない。共謀罪への見解を問う。 ○区は1月、4警察署・各種団体とパートナーシップ協定を締結した。テロの未然防止等を目的に「情報の共有」等を取りきめている。その意義は何か。人権侵害につながる危険はないか。 公共施設は住民福祉の向上のためにある。公共施設のあり方を①住民参加、②施設の長寿命化、③まちづくりの一環、等の角度から質問する。 ○17年度国保料は一人あたり7千円を超える値上げだ。「負担も限界」との区民の声が寄せられている。値上げを抑え引き下げるには一般会計からの繰り入れを増やすことが欠かせない。 ○広域化に向けた協議の内容等について ○麴町地区 地区計画について ○飯田橋駅西口地区 地区計画に関連して ○借上げ期間の終了した区民住宅居住者の状況をふまえ、改めて存続にむけた再検討を求める	区長及び 関係理事者
4	小枝議員 (声)	1、都政は音を立てて変わりつつある。果たして千代田区は、真に区民に寄り添う区政であることを区民に実感させることができるのか。 2、築地市場・豊洲移転問題から、石川区長は何を学ぶのか。 3、現在進行中の2つの公共施設建設は、透明性・公開性、効率性、合法性、将来性において疑念が残る。このまま強行してしまうのか。	小池都政になって、豊洲土地住民訴訟における東京都の姿勢が、情報公開型、責任と権限の明確化へと目に見えて変わってきた。また、昨年区議会で委員会集約された街路樹保存を求める陳情の取扱いを尊重し、東京都は、地元中学校において託児室を設置し、地域住民の意見を聞く会を開くなど、トップが変わることによる変化を身近に実感している。 石川区政5期目の区政運営においても、小池都政と同様、情報公開型、透明性の高い区政運営を区民に見せることができるのか。 (仮称)区立麴町(平河町)仮住宅について ② (仮称)外神田一丁目計画基本構想について	区長並びに 関係理事者

代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	寺沢議員 (紡民)	<p>1. 公共施設整備計画について</p> <p>2. 区内福祉・介護事業者の特色・特徴をアピールしてはどうか</p> <p>3. 障がい者の切実なニーズに応えるために</p> <p>4. 教員の負担軽減について</p>	<p>区の10年計画であるちよだみらいプロジェクトにおいて計画通りの進捗がはかられていないものが散見される。即、取り組みを始める必要があるのではないかと。</p> <p>介護保険制度は3年ごとに改定され、そのたびに保険料の上昇、利用者負担が増えている。制度仕組みは益々複雑でわかりにくい。事業者の特色を区民にアピールする機会を設ける支援をしてはどうか。</p> <p>みらいプロジェクトでも親なき後の支援が課題となっている。スピード感をもって取り組めないか。</p> <p>先生方の多忙が問題となっている。忙しさを解消するために何が必要か。</p>	区長・教育長 並びに 関係理事者
6	大串議員 (公明)	<p>1) 5期目のスタートにあたって</p> <p>2) 真の循環型社会を目指して!</p>	<p>① 前期目標として掲げた「豊かな地域社会」は、どこまで実現できたのか。また、今期目標とすべきは何か。</p> <p>① 東京としてごみの減量にいかに取り組むかは大きな課題である。センターオブ東京としての千代田区がごみの減量に対してどのような方針で取り組んでいくかは全国の注目するところである。そこで、オリンピックまで3年となり、区長に改めて、ごみの減量に関しての基本的な考え方を問う</p> <p>② 3Rの推進について 3Rとは、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再利用(リサイクル)という優先順位のことだが、特に発生抑制と再使用の2Rは重要だ。区として2Rの推進をどう行っていくのか。</p> <p>③ 皆ですぐにできる2Rについて レジ袋はできるだけ使わないでマイバックへ ペットボトルは自主回収ルートへ リユース瓶の推奨</p> <p>④ 集団回収について</p> <p>⑤ 食品ロスの削減について</p>	区長および 関係理事者

一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	嶋崎議員 (自民)	国際教育について 区民の国際交流について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際教育の現状と課題について 学校教育における現状と課題は何か ・ 国際交流事業の意義について 国際理解を進めるうえで、海外との交流を進めることが重要と考えるが、国際交流事業の意義は何か ・ 国際交流事業の今後の展開について 現状の事業は対象が限定的であり、更に効果的な方策を検討すべきと考えるが、今後の事業の展望とは <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外との姉妹提携について 	区長並びに 関係理事者
2	永田議員 (自民)	高齢者の定義引き上げについて プレミアムフライデーについて	<p>学会より高齢者年齢の定義を65歳から75歳以上への引き上げが提言された。実態と合っていない高齢者に対する環境・意識を変え、社会参加を促すきっかけになることが期待される。本区の方針を問う。</p> <p>経済産業省、経団連によるキャンペーンで2月24日から3時で仕事を切り上げる「プレミアムフライデー」が始まった。参加可能な企業が限定的で消費促進に繋がるのか賛否両論はあるが、働き方だけでなく生き方を考える契機になれば定着するかもしれない。本区の消費生活支援事業と合わせて活用してはどうか。</p>	区長及び 関係理事者
3	米田議員 (公明)	区民の健康づくりについて	<ol style="list-style-type: none"> ① 「第二次健康千代田 21」案が示されたところである。そこで区長に計画の特徴と、これからの区民の健康づくりについて基本的な考え方を問う ② ピロリ菌検査について ③ 乳がん検診について 	区長および 関係理事者
4	池田議員 (自民)	「食品ロスの削減」を食育の テーマに	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「恵方巻き」や「クリスマスケーキ」、など大量廃棄されている記事について親はもとより子どもの頃から「もったいない」の問題意識を持つことが大切ではないか。 ・ フードロスチャレンジやもったいない鬼ごっこなど、食育を理解する材料として取り上げ、子どもや親が削減の工夫を認識する場を広く提供してはどうか。 	区長及び 関係理事者

一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	松本議員 (自民)	○千代田女性史の継承 ○予防接種の拡大 ○多様化された保育施設の見直し	○女性参政権70年の節目に再編できないか ○メレーズ軽井沢の活用的一端に位置づけられないか ○教育・保育に携わる教職員への接種の拡大はできないか ○各保育所・保育施設の実態把握は実施されているか	区長並びに 関係理事者
6	岩佐議員 (紡民)	1. 行政評価制度の再構築について 2. 退職職員の外郭団体等における活用について 3. 児童相談所設置を視野に入れた社会的養護施設及びその当事者への支援について	①行政評価制度の再構築をしているとの報告があった後の進捗状況について ②施策評価を「ちよだみらいプロジェクト」の見直しにどう活かすのか。さらに基本構想の見直しとの関係について 第三セクターや指定管理者に、退職した区職員が再就職する場合における透明性の確保および評価について 改正児童福祉法により、特別区も児童相談所を設置できることになった。また、社会的養護から家庭的養護への方向転換が法定された。児童相談所の設置準備の進め方、同時に区として社会的養護を受けている子どもたちへの支援及び家庭的養護を具体化する準備のロードマップについて	区長・教育長 並びに 関係理事者
7	たかざわ議員 (千代田)	1. いじめ対策について 2. 九段中等教育学校の増築について 3. 神田冠称について	福岡県で始まった「ハッピーボックス」を本区でも取り入れてみては 増築を決定するに至った経緯経過はいかに。 増築によって校庭はどの位狭くなるのか、教育活動に支障はないか？ 富士見校舎の利用は？ 来年神田冠称が実施されるにあたり、この二年間どのような対応をしてきたか、周知は十分になされてきたか問う。	区長並びに 関係理事者

一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
8	牛尾議員 (共産)	<p>◆子どもの成長発展を支えるとともに、保護者が真に安心して預けられる学童保育のために</p> <p>◆来年度の認可保育園待機児童の問題について</p>	<p>・現在の学童保育のスペースや指導員の人数が子どもの成長や発展を保障するうえで充分なのか</p> <p>・子どもも保護者も安心して利用できる学童保育のために、認可保育園と同様に計画的に整備していくことを求める。</p> <p>・学童指導員がやりがいを持って仕事ができるように、処遇の改善や適正な人員の配置などを求める。</p> <p>・特定の保育園を希望して待機している児童の解消は兄弟姉妹が別々の保育園に通う児童のみで良いのか区の認識を問う。</p> <p>・子ども子育て支援制度で導入された地域型保育事業のとくに居宅型保育などについて問う。</p>	区長ならびに 関係理事者
9	林議員 (千代田)	<p>1. 区民歯科健診に歯のクリーニングを</p> <p>2. 史跡 江戸城外堀跡保存管理計画</p>	<p>受診率向上には 区民歯科健診に歯のクリーニングを 子どもの歯科健診にはフッ素を 計画策定はなぜ平成17年度からなのか？ 平成20年3月の計画策定からこれまで史跡江戸城外堀跡の整備・活用の推進の成果 文化財保護法による現状変更等の関係</p>	区長並びに 関係理事者
10	飯島議員 (共産)	<p>子ども医療費助成の拡充について</p> <p>いじめ問題の対応について</p> <p>核兵器廃絶にむけて</p>	<p>2018年度から就学前助成に対するペナルティーが廃止される。その一部を使い、入院給食費の助成を拡充し、子ども医療費の完全無料化を求める。</p> <p>区立学校内でいじめが後を絶たない。「大津市立中学校におけるいじめに関する第三者委員会」の調査報告を参考に、慎重な対応を求める。</p> <p>全国で原発避難者がいじめにあっている。原発事故避難者に対する誤解を払しょくするために区の努力を求める。</p> <p>核兵器禁止条約制定にむけての論議が国連で始まる。世界に広がるヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名に区として協力することを提案する。</p>	区長、教育長 並びに 関係理事者

一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
11	岩田議員 (民進ク)	高齢者施設に運動の専門家を招いて指導を仰ぐことの是非について。 福島県からの避難者の方々に対する千代田区の対応について。	高齢者の方々もできる新たな体操についての試みを千代田区で導入できないか。 今年3月で、現在住んでいる住宅を追い出されてしまう。何とか、引き続き同条件で済み続けられるよう、千代田区として何ができるか。	区長並びに 関係理事者
12	小林た議員 (声)	1. 千代田区人口ビジョンについて 2. 公共施設等総合管理方針等について	1. 千代田区の人口が、40年後2055年まで増え続けるという想定は、日本社会全体が既にピークアウト、東京都においても2025年(9年後)にピークアウトすると推計している中で千代田区の見通しは根拠がどこにあるのか。都とのすり合わせも必要ではないか。その根拠と今後見通しを説明して欲しい。 2. 過大な想定人口で施策、とりわけ公共施設をつくった場合、ハコモノのスケール感や維持管理コスト等すべての見通しが狂ってしまう。慎重且つ説得力のある人口見通しを区民に示すべき。 施設カルテ等考え方、展開の仕方等、他	区長並びに 関係理事者